

2012年度(社)日本建築家協会四国支部

第3回役員会/四国建築賞・支部大会準備委員会/災害対策委員会議事録

日時：2012年10月26日(金) 11:00～14:00

会場：郷屋敷 (高松市牟礼町大町 1987)

出席者：32名 □は委任状出席者、下線は他委員と兼任、※は委員長、

役員：眞田井良子、武智和臣、松浦洋、村上巨平(監)、和田耕一(愛媛)
秋山裕英、斉藤圭一、永野利枝、野村正人、三井武一(香川)
伊月善彦、内野輝明、鳥羽知夫、富田眞二(監)、松田公彦(徳島)
東哲也、大原泰輔、徳弘忠純、細木茂、松木貴史、松澤敏明(高知)

災害対策委員会：

笹木篤(愛媛)、公文敏則、富田妃登志(香川)、石原隆昌、※野々瀬徹(徳島)
平山昌信(高知)

四国建築賞・支部大会準備委員会：赤松和俊(香川)、中川俊博(徳島)

地域会：平野祐一、松田保文(香川)、二宮一平(愛媛)、新居照和(徳島)

事務局：鎌田吉敬(香川)、村上真(徳島)、山崎洋子(高知)

欠席者：2名

四国建築賞・支部大会準備委員会：※賀村智(愛媛)、久住高弘(徳島)

役員会定数確認：

役員総数(議決権あり)19名のうち出席者15名、委任状出席者4名。計19名
支部規定第15条3「構成員の2分の1以上出席しなければ議決することができない」を満たす。

■議 事

■役員会

1. 災害対策委員会四国セミナー開催のための予算承認の件

野々瀬委員より委員会の説明がなされ、10万円を支部予算として承認願いたい。

これに対し、細木支部長より「今年度は協力会員の入会もあり、100万円弱の財源があり、予備費として用意されているので予算はある。一同、承認してよろしいか？」一同異議無し。よって承認。

2. 第1回四国支部大会実行委員会設立承認の件

執行委員のメンバーについて支部長より改めて紹介があり、採決された。

3. 環境セミナー実行委員会設立承認の件

徳島新居さんより設立にあたって来年より2年間くらいで連続セミナーを行ないたいとの説明があった。支部長からはできれば独立採算のかたちでお願いしたいとの意見があり、出席者一同に承認の是非を聞き異議無しとのことで承認された。

4. 高知県梶原町との業務委託契約締結承認の件

高知地域会大原氏より事業の説明がされた。ここで、細木支部長より委託事業の受託方法について説明があった。基本的には会長名あるいは会長の委任により支部以下で契約することができる。まだ最終決定ではないが最低限支部長一名または地域会長との連名での契約になりそうである。また、事業費のうち5%を支部に、5%を地域会に納入するルールが確認された。設監の活動はJIA高知地域会が引き継ぐという取り

決めがあり、この事業もその一つである旨、細木支部長より経緯説明があった。

5. 新四国支部規約案、四国支部地域会規約案の検討

支部長より 0914 支部規程、支部規約（細木加筆）案をベースに説明があった。

予算案作成スケジュールについて愛媛武智氏より、前年 12 月中に翌年の予算すべてを決めるのには無理がある。年度中の補正予算も検討して欲しいとの意見があった。

6. 報告 1：会員増強特別委員会が本部に設立

支部長より会員増強特別委員会設立の説明があり、四国からは本部総務委員である松木氏を支部の委員として選出したとの報告がされた。

報告 2：事務局改革について

理事会で全国各支部事務局の予算を増やす方向で進んではいるが、集めた会費の 100%以上の予算をもらうのはむつかしい雰囲気である。四国支部の場合は約 100 名の会費 450 万円+支部調整費 50 万円の計 500 万円が最終的な支部予算になりそうな気配である。

報告 3：武智氏より日土小学校建築学会業績賞受賞についての報告があった。

■ 四国建築賞・支部大会準備委員会

1. 第 1 回四国支部大会実行委員会

- ・ 実行委員長及び実行委員の選任

各地域会の委員の確認と準備委員がそのまま実行委員に移行することが確認された。武智委員より会場は舟屋（130 名収容のホールと 30 名×2 室）の会場の仮予約は押さえてあるとの報告がされた。

- ・ 大会テーマ、講演会講師の検討

88、環境、防災の 3 つの分科会に分かれて発表という意見が出た。社団法人の性格からして内向きのテーマよりは防災といった外向きのテーマが望ましいことが確認された。

2. 四国建築賞について

特にコメント無し。

■ 資格制度委員会

1. 内野委員より、今号の JIA マガジンの別刷資格制度特集について簡単な説明がなされた。11月の地域会長会議で各地域会の会長、資格制度委員、広報委員を招集し、詳しい説明をする予定であり、それを各地域会に持ち帰って議論していただきたいこと、その結果をとりまとめて横浜大会での資格制度シンポジウムに参加すること、大会参加の方は是非シンポに出席していただきたいことなど、要請があった。

■ 災害対策委員会

野々瀬委員長より、2 事業の説明、参加要請と徳島地域会活動報告等がありました。

1. 11 月 8 日の四国支部・各地域会災害対策訓練実施について、「災害時の支部災害対策本部の設置」及び「支部会員の安否確認訓練」の説明があった。安否確認の詳細内容について YOU—OK システムの利用説明が石原委員からあった。

2. 11月10日13時半～17時に四国支部と徳島大学地域創生センターとの共催によるシンポジウム「来る東海・東南海・南海地震に備えて専門家・大学は何を準備できるか～地域の生き残り対策としての事前災害復興計画」の内容説明があり、役員、災害対策委員の参加要請があった。
3. 徳島地域会でスタートさせた「大学・専門家災害復興連携ネットワーク」の活動の紹介があり、今後、支部災害対策委員会は各地域会に災害対策委員会を設置して地域会の災害対策活動を進め、支部災害対策委員会は連携して各地域会活動を相互支援することを模索する。
4. 笹木委員から、災害対策の検討案の簡単な説明があった。今後、支部災害対策委員会は災害対策について協議、実践活動をしていきます。

議事録作成者 松木貴史